

第48回
高野山
夏期講座
2017

部落解放・人権 夏期講座

同時開催

フィールドワークコース
(事前講座含む)

日時 2017年8月23日(水)~25日(金) 参加費 7,500円 (参加・資料代、報告書代、税込み)

会場 高野山大学松下講堂黎明館、体育館、201教室、図書館

主催 部落解放・人権夏期講座実行委員会

8/23 開会行事 14:00~ 全体講演 14:15~17:30 8/23の全体講演1・2のみ手話通訳が入ります。

全体講演1

① 14:15~15:45 (90分)

部落

部落差別解消法の意義と活用への課題

昨年12月、「部落差別解消法」が成立し、施行されました。「部落差別解消法」が成立した背景、意義、部落差別の解消という目的達成にむけて法律をどう具体化していくのか、活用に向けた課題を考えます。

奥田 均 近畿大学人権問題研究所教授
(一社)部落解放・人権研究所代表理事

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

② 16:00~17:30 (90分)

障害者

相模原事件が問いかけるもの

なぜ、障害者施設元職員がこのような残酷な事件を起こしたのか？ 障害者虐待は何を語っているのか？ 新聞記者の立場から論説していきます。

野澤和弘 毎日新聞社論説委員

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

全体講演2

① 14:15~15:45 (90分)

水俣病

なぜいま「水俣病」なのか

水俣病とはどのような病気なのか？ 国の救済策とは？ そして今、水俣病患者は…。長年取材を続けてきた新聞記者である講師がその現状を語ります。

田中久稔 朝日新聞社記者

会場：高野山大学体育館(500人)

② 16:00~17:30 (90分)

ハンセン病

ハンセン病家族訴訟にふみきった思い

自分の親がハンセン病だったことを語れず苦しんでいる家族がいます。それは今もおそろしい病気と見る目があるからです。昨年熊本地裁に568名の家族が提訴しました。家族が訴えようとする意味を明らかにします。

黄 光男 ハンセン病家族訴訟原告副団長
ハンセン病遺族・家族の会「れんげ草の会」副代表

会場：高野山大学体育館(500人)

※車イスで参加される方や手話通訳等を必要とされる方など、受講にあたって支援が必要な方は、7/28(金)までに事務局までお知らせください。

※講座期間中(8/23(水)~8/25(金))のみ、一部の高野山真言宗総本山金剛峯寺諸堂の無料拝観ができます。本集会の参加領収書を提示のうえ拝観してください。詳細は当日資料をご覧ください。

※講演の趣旨に反する場合は、その時点で参加をお断りさせて頂く場合があります。

ぜひ涼しい服装で!

高野山大学体育館および201教室はエアコンがありません。ぜひ涼しい服装でお越しください。

課題1

ヘイトデモを止めた街から
~誰もが力いっぱい
生きられるために~

ヘイトスピーチ解消法成立後、川崎市では不正義を許さない行政施策が進みつつあります。行政機関、議会、市民が共に差別の根絶に向けて進む厳しい闘いの現状を講演していきます。

崔 江以子
川崎市ふれあい館 副館長

貧困・虐待に苦しむ女性の支援
~若草プロジェクト~

父親からの性的虐待。両親からのネグレクトで給食費も払ってもらえない。そんな家にも学校にも地域にも居場所を失った女の子の受け皿として立ち上げられた若草プロジェクトの活動を紹介します。

大谷恭子
若草プロジェクト代表理事
弁護士

福祉の代替施設と化す
我が国の刑務所

~この現実には社会はどう向き合うべきなのか~

著書「獄窓記」で刑務所内の問題を世に問うた作家・山本譲司が、自らの獄中体験をもとに、「ハンディキャップを抱えた人たちの犯罪と、その出所後の支援」について語りかけ、一緒に考えていきます。

山本譲司
作家

誰ひとり取り残されない
~あいつぐ災害から学ぶ~

災害が起きると真っ先に犠牲になるのが障害者・高齢者。その後の復旧・復興のプロセスからも取り残されてゆく。阪神・東日本、熊本と続く災害で私たちは何を学んだのか。取材者の立場からお伝えし考えていきます。

迫田朋子
ビデオニュースドットコム
プロデューサー

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人) バリアフリー情報 入口:自動ドア、段差なし/エレベーターなし/トイレ:車イス対応トイレあり(男女別)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

課題2

社会的差別の
現実と差別禁止法

ハンセン病問題、HIV問題、アイヌ問題、見た目問題、水俣病問題、自死遺族問題など社会的差別の現実をふまえて差別禁止法の必要性を考えます。

谷川雅彦
(一社)部落解放・人権研究所
所長

ヘイトハラスメント裁判

会社内で人種的・民族的な偏見・差別を助長する文章が大量に配布され、また特定の教科書を採択するために教科書展示会への動員が行われた事件について、被害の実態と企業の責任について話します。

富田真平
ヘイトハラスメント訴訟弁護団
弁護士

ハラスメント問題入門

今、使用者責任が問われています！セクハラ・パワハラ・マタハラ・パタハラ等防止への措置義務。まずは、「しない」「させない」「見逃さない」労働環境をつくることをめざして今やるべきことを考えてみませんか？

桑野里美
有限会社
ビジネス・パートナー・オフィス
代表取締役

「全国部落調査」
裁判とネット公開

鳥取ループ・示現舎による「部落地名総鑑」の出版・ネット公開を阻止するための裁判が行われています。同時にネットで差別が強化され、深刻化しています。裁判で問われている部落差別の現実と今後の課題を考えます。

川口泰司
山口県人権啓発センター
事務局長

会場：高野山大学体育館(500人) バリアフリー情報 入口:自動ドアなし、段差なし/エレベーターなし/トイレ:車イス対応トイレなし/本館のトイレをご利用ください/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。本館内には階段を使用します。そのため、車イスのまま会場内に入る際に介助が必要となりますので、事務局までお知らせください。

課題3

生活困窮者支援と
隣保館の果たす役割

「生活困窮者自立支援法」がめざす生活困窮者支援を通じた地域づくりの具体化において、隣保館は重要な社会資源です。「鳥取市モデル」と言われる隣保館を活用した自立相談支援業務や地域食堂などの取り組みを報告します。

川口寿弘
鳥取県隣保館連絡協議会
事務局長

子どもたちと向き合う
~家庭児童相談室から~

いま、子どもたちが家庭や学校内で心に傷を抱えたまま孤立しています。その背景をさぐり、子どもや家族と向き合あって子どもをめぐる家庭内の解決し難い問題に取り組んでいる家庭相談員の日常とは？

香渡清則
広島県家庭相談員連絡協議会
会長

子どもからのカミング
アウトを受けて
~家族の立場から~

もし、子どもから性的マイノリティだとカミングアウトされたら、あなたは受け入れることができますか？ はじめは将来が不安でどうすればいいかわからないと嘆いていた親も仲間と出会って変わっていくのです。

いわたにてるこ
NPO法人LGBTの家族と友人
をつなぐ会理事

求められるカラー
ユニバーサルデザイン

「色の感じ方は人によって違う」ことを知っていますか？ みんなが自分の色の見え方に誇りを持てる社会に。カラーユニバーサルデザインとは「みんなにわかりやすい色づかい」のことを指します。

伊賀公一
NPO法人カラーユニバーサル
デザイン機構副理事長
ソラノイロ代表

会場：高野山大学201教室(330人) バリアフリー情報 入口:自動ドア、スロープあり/エレベーター:あり/トイレ:車イス対応トイレあり(1F男女共用)/障害者対応駐車場:なし/その他:大学の校門から会場まで登り坂。介助が必要な方は事務局までお知らせください。

8/24

19:00~20:30(90分) 参加自由 入場無料

ゴスペルコンサート

ついに「自由だ!」

~自由への道標 ゴスペル~

最近日本でもファンの多い「ゴスペル」。音楽、画像とナレーションで、逃亡奴隷の苦難の歴史をたどるコンサートです。地理が分からない奴隷達の命がけの逃亡に暗号としてゴスペルの歌詞が歌われていたのです。

モーツァルト記念合唱団 指揮者 **益子 務** 先端応用音楽研究所顧問 武庫川女子大学名誉教授

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

8/25

① 9:00~10:30(90分)

映画

スカーフ論争 ~隠れたレイシズム~

スカーフ着用がフランスで論争を呼ぶのはなぜか。当事者たちの声を拾い上げ、政教分離や男女平等などの理念に隠れたムスリム系マイノリティに対する差別に切り込んだジェローム・オスト監督の渾身のドキュメンタリー。

会場：高野山大学松下講堂黎明館(1000人)

過労死

働き方を変える

小児科医だった夫が過労死して18年。自身の裁判活動や過労死防止対策推進法の制定など、この社会から「過労死」が無くなるような活動をしています。労働者に問われる生き方を共に考えます。

中原のり子 全国過労死を考える家族の会 東京代表

会場：高野山大学201教室(330人)

全体講演3

アクセス



- 電車運賃:1260円(南海高野線「なんば」駅→「高野山」駅、特急利用の場合、別途特急料金780円)
- バス運賃(高野山駅前発) 高野山大学 290円(「千手院橋」下車)

※詳しくは、南海電鉄 (<http://www.nankai.co.jp/>) 南海りんかんバス (<http://www.rinkan.co.jp/>) にてお確かめください。

※現地の駐車場には限りがありますので、お車での参加はご遠慮ください。また、事故、盗難などに関する責任は負いかねますのでご了承ください。

8/24

10:45~12:15(お昼休憩) 13:15~16:30

事前申し込み制

フィールドワーク(事前講座+フィールドワーク)

高野山の歴史~「平等と差別」を中心に~

講師:木下 浩良 高野山大学総合学術機構(図書館・密教文化研究所)課長

毎年人気のフィールドワーク。今年はいよいよ一層その内容を理解しやすいように、事前講座を行います。この講座でしか見聞できない高野山の魅力を盛り沢山、解説していきます。

申し込み方法

お名前、所属、連絡先(郵便番号、住所)、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレスを書いて、下記の「FAXまたはE-Mail(koyasan@blhri.org)」にお申し込みください。また、請求書を必要とされる方は請求書の宛名及び日付等をお知らせください。

申し込み締切

7月28日(金)締切 ※定員50名(申込先着順、定員になり次第受付を終了いたします。)

※定員に限りがございますので、おひとりずつお申し込みください。

※最後まで参加できる方に限ります。

※抽選結果につきましては、8月8日(火)までに直接ご連絡いたします。

※お申し込みの際の個人情報、講座運営上の目的以外には使用いたしません。

申し込み先

部落解放・人権夏期講座 フィールドワーク係

FAX:06-6581-8540(24時間受付)

E-Mail:koyasan@blhri.org

参加費

3,500円

(バス代、資料代、旅行傷害保険料込み、税込み)

※但し、路線バスの利用となります。あらかじめご了承ください。

定員

50名 ※おひとりずつお申し込みください。

フィールドワーク事前講座の会場:高野山大学図書館

事前講座 10:45~12:15 (図書館)

休憩 12:15~13:15

フィールドワーク 13:15~16:30 ※フィールドワーク受講生のみ対象

※フィールドワークに参加される方は事前講座を受講していただきます。

高野山大学キャンパスマップ



参加者には講演内容をまとめた報告書を解放出版社よりお届けします。

後日、講演内容をまとめた報告書をお送りいたします。

参加できなかった講演を含め、本講座で論じられた幅広い分野の貴重な情報が得られます。

なお、この件に関するお問い合わせは、解放出版社TEL.06-6581-8542までお願い致します。

部落解放・人権
夏期講座
実行委員会

構成団体:大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪府立学校人権教育研究会、大阪市立高等学校人権教育研究会、大阪私立学校人権教育研究会、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、大阪府市長会、大阪府町村長会、「同和問題」にとりくむ宗教教団連帯会議、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議、高野山真言宗、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、JAグループ大阪人権啓発推進連絡会、人権啓発推進大阪協議会、世界人権宣言大阪連絡会議、部落解放同盟大阪府連合会、部落解放大阪府民共闘会議、部落解放同盟和歌山県連合会、(一財)大阪府人権協会、(一社)高野山宿坊協会、(株)ジョイックス、(一社)部落解放・人権研究所 (順不同)

参加・宿泊のお申し込みは、7月28日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。
 ※参加と宿泊の申し込み先は、別になっていきますのでご注意ください。

参加費・参加申し込み方法

参加費 7,500円
 (参加・資料代、報告書代、税込み)
 ※原則として3日間参加してください。

参加申し込み方法

実行委員会加盟団体のみならず
 7月28日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。
 実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方
 下記①または②のいずれかの方法でお申し込みください
 ①(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。
 (クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒<http://blhrrri-shop.org/>
 ②下記の銀行口座に参加費をお振り込みください。その後、申込書に必要事項をご記入の上、振込証明書(領収書のコピー)とあわせて下記事務局まで、FAXまたは郵送にてお送りください。後日、参加券をお送りいたします。

ホームページからの申し込み

(一社)部落解放・人権研究所のホームページよりお手続きください。
 (クレジットまたはコンビニ決済となります。)⇒ <http://blhrrri-shop.org/>

参加費振込先

りそな銀行桜川支店 普通預金 0109213
 部落解放・人権夏期講座実行委員会 代表 奥田 均

参加申込書送付先

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F
 (一社)部落解放・人権研究所
 「部落解放・人権夏期講座」係
 tel.06-6581-8576 fax.06-6581-8540

宿泊料金・宿泊申し込み方法

宿泊料金 17,300円(税込み)
 ※2泊3日・5食(2日目の昼食は弁当)の料金です。

宿泊申し込み方法

実行委員会加盟団体のみならず
 7月28日(金)までにご所属の団体事務局にお申し込みください。
 実行委員会加盟団体以外の団体の方、ならびに個人として参加される方
 宿泊を希望される方は、(株)ジョイックスのホームページよりお手続きいただくか、あるいは下記の申込書に必要事項をご記入の上、コピーを下記(株)ジョイックスまで、FAXまたは郵送にてお送りください。

ホームページからの申し込み

(株)ジョイックスのホームページよりお手続きください。
 ⇒ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

宿泊料金振込先

りそな銀行新大阪駅前支店 普通預金 7011087
 株式会社ジョイックス(大阪府知事登録旅行業第2種1558号)

宿泊申込書送付先

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館
 (株)ジョイックス
 「部落解放・人権夏期講座」係(担当:山本)
 tel.06-6390-3400 fax.06-6390-0394

◎高野山直行バス案内◎ 南海特急こうや号の指定席もご用意できます(満員になり次第締切ります)

新大阪駅→高野山(全体講演会場)直行バス運行の案内 片道3,500円

出発時間 午前10時30分(所要約3時間)

※8/25(金)の復路も運行しております。 ※申込等は上記(株)ジョイックスまで、お問合せください。
 (株)ジョイックス ホームページ <http://joyx.moon.bindcloud.jp/>

切り取るか、コピーしてお使い下さい。

切り取り線

お問い合わせ先

(一社)部落解放・人権研究所 啓発企画部

TEL:06-6581-8576・FAX:06-6581-8540・E-Mail:koyasan@blhrrri.org

第48回部落解放・人権夏期講座

2017年 月 日

参加申込書

名前			
所属			
連絡先(住所)	〒 □□□-□□□□		
TEL	() -	FAX	() -

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。